

# 植物防疫情報第 8 号

令和 6 年 8 月 29 日  
岡山県植物防疫協会  
岡山県病害虫防除所

## トビイロウンカの発生に注意してください！

岡山県病害虫防除所（赤磐市）に設置している LED 灯において、8 月 21 日にトビイロウンカ雄成虫 1 頭が確認され、県内の他地域についても飛来している可能性があります。なお、これまで県内での巡回調査では発生を確認していません。

中生品種及び晩生品種の栽培ほ場で本虫の発生が多い場合、坪枯れ（写真 1）等の被害が発生する可能性があることから、ほ場を確認し本虫の発生があれば（写真 2）、防除の徹底を図る必要があります。広島地方気象台発表の 8 月 22 日の向こう 1 か月の季節予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並か多いとされており、本虫の増殖を助長する条件であり、今後の発生状況に注意してください。

### <防除対策>

- (1) 要防除水準（成幼虫合計で株当たり 10 頭以上又は短翅型雌成虫で株当たり 0.2 頭以上）を超えるほ場では、直ちに防除を実施する。なお、本虫はほ場内で局所的に生息し株元を好むため、調査に当たっては、ほ場の中央部まで入りながら、なるべく多くの株元をよく観察する。
- (2) 農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、表の単剤あるいはその成分を含有する混合剤を安全・適正に使用する。また、散布に当たっては薬剤が株元まで十分到達するよう留意する。
- (3) 収穫期に近い場合、薬剤散布は農薬使用基準の収穫前日数をよく確認して行う。



写真 1 坪枯れ（令和 4 年 9 月 13 日撮影）



写真 2 株元に発生したトビイロウンカ  
（令和 4 年 9 月 13 日撮影）

表 水稲におけるトビイロウンカの主な防除薬剤 (令和6年8月26日現在)

薬 剤 名	農 薬 使 用 基 準			IRAC コード
	使用時期 (収穫前日数)	本剤の 使用回数	希釈倍率・使用量	
キラップフロアブル キラップ粉剤DL	収穫14日前まで	2回以内	1,000～2,000倍 3～4kg/10a	2B
トレボンEW <sup>1)</sup> トレボン乳剤 <sup>1)</sup> なげこみトレボン <sup>1)</sup>	収穫14日前まで	3回以内	1,000倍	3A
トレボン粉剤DL <sup>1)</sup> トレボン粒剤 <sup>1)</sup>	収穫14日前まで 5葉期以降(但し、 収穫21日前まで)		3～4kg/10a 2～3kg/10a	
スタークル・アルバリン粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	3kg/10a	4A
スタークル・アルバリン顆粒水溶剤	収穫7日前まで		3,000倍	
スタークル豆つぶ スタークル・アルバリン粒剤	収穫7日前まで		250～500g/10a 3kg/10a	
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍	4C
エミリアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍	4F
オーケストラフロアブル <sup>1)</sup>	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍	UN

<sup>1)</sup> の薬剤は水産動植物に対する危害が発生しやすい地域および発生するおそれのある地域では使用しない。

農薬の容器のラベルをよく読み、各単剤の有効成分を含む農薬の総使用回数を守る。

**農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、農薬飛散に注意するなど、安全・適正に使用する。**

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。  
アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

